

読者の皆さんから届いたお便りなどを紹介します

7月1日からレジ袋が有料化！

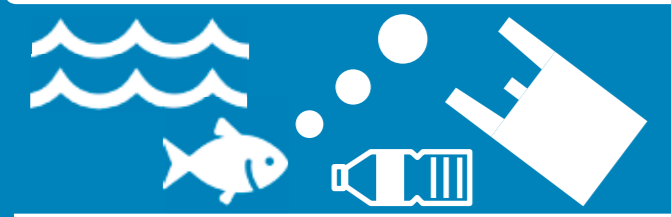
7月から、全国でプラスチック製買い物袋（レジ袋）の有料化がスタートします。プラスチック製品は、海ごみ問題などさまざまな環境課題を抱えています。この機会にレジ袋削減に取り組み、一人ひとりが環境のためにできることについて考えてみましょう。

海ごみ問題とは

ごみのポイ捨てや不法投棄により屋外に放置されたプラスチックが、雨風によって河川から海に流れ出て海ごみとなります。紫外線や波により劣化し、小さく砕かれて5mm以下の破片になったものは「マイクロプラスチック」と呼ばれ、有害物質が付着しやすくなります。魚がマイクロプラスチックを餌と間違えて食べることにより、魚を食べる人間への影響も懸念されています。



海ごみは、生態系への影響に加え、海洋環境や観光・漁業への影響、船舶航行の障害など、さまざまな問題を引き起こしています。ごみは持ち帰る・清掃活動に参加するなど、海ごみを減らすための行動を心掛けましょう。



エコバッグを利用しましょう

エコバッグを利用して、ノーレジ袋を目指しましょう。レジ袋は石油から作られており、限りある資源の無駄遣いにつながっています。エコバッグを使うところから、環境に優しい生活を始めてみましょう。

SOJA エコバッグ販売中



チュッピーもいるよ！

総社市ごみ減量化作戦連合協議会では、SOJA エコバッグを販売しています。丈夫なキャンバス素材を使用し、レジカゴサイズで保冷機能付き。備中国分寺などのイラストを印刷しています。価格は税込み 1500 円で、環境課窓口で購入できます。

ごみについてのお願い

市では、ごみの減量化を推進しています。市民の皆さんも以下のことなどに取り組み、ごみ減量にご協力ください。

●生ごみの処理方法

生ごみはしっかり水を切ってから捨てましょう。生ごみの70～80%は水分と言われています。水切りをすることで、悪臭や腐敗を防止できます。水分量を減らすことで、ごみ焼却時の負担を少なくすることにつながります。



●資源回収の促進

ごみの減量を推進するため、ごみ減量化団体が行う資源回収に対して、資源売却代金のほかに1kgあたり8円の報奨金を交付しています。対象となる団体や回収品目などについては、市ホームページでご確認ください。



市ホームページ

問い合わせ 環境課美化推進係 (☎) 8338

西郡地区では、宅地開発による新興住宅の急増、高齢化の進行などによる地域活動の弱体化が課題でした。住民の交流と活気あるまちづくりを目的に、平成27年に西郡地区の絆を推進する会（絆塾）を結成。地域誌の発刊、地域に残る映像の収集と公開、地域拠点への防災・情報機器の整備、講演会の開催など、さまざまな活動に取り組んできました。



昨年行われた総社防災シンポジウム

防災について考える有意義な時間を過ごせました。これまでの活動を通して、地域のつながりを強くすることができたと思います。今後、絆塾の活動は西郡自治会に移管しますが、これからも企画広報部、防災部として地域を支えていきます。自治会では30代の新会長を迎え、新体制がスタートしました。皆さんとともに、新しい一歩を踏み出したいと思います。

（西郡地区の絆を推進する会 会長 板野誠さん）

5月19日、総社産セロリを原料にしたマイルドセロリドレッシングの販売を開始しました。ドレッシングの完成までには、長い時間が掛かりました。始まりは3年前、総社産のセロリを使った商品開発を依頼されたことです。味付けや形状を変えながら、セロリを使った食品を何種類も試作。試食を繰り返したり、市のイベントなどでアンケートを取った



市役所などで販売されたマイルドセロリドレッシング

りすることで、商品開発を一歩ずつ進めてきました。最終的に、ドレッシングを商品化することが決定。味付けやセロリの含有量を調整し、特有の風味を生かした味を実現しました。大変好評で販売から10日程で完売となり、次のセロリ収穫時期には再生産する予定です。今度は、より多くの人に味わってほしいと思います。

（そうじゃ地食べ公社 風早政巳さん）

そうじゃ特産商品シリーズが当たる

広報クイズ

今月の『広報そうじゃ』を読んで、次のクイズに答えてください。

Q 昭和地区美袋に建設した仮設住宅を恒久化するための工事を予定。基礎工事を行った後、「●●住宅」として建て直します。
【応募方法】 はがきかメールに答えと住所、氏名、電話番号、市政や広報紙に対するご意見やご要望を明記のうえ、編集室へ。正解者のなかから2人に「そうじゃ消防署カレー」1個と「そうじゃ小学校ライスカレー」2個、「そうじゃ赤米がゆ」1個をセットで贈ります。いただいた意見などに対して、担当課から連絡することがあります。
【応募期限】 7月31日(金) 【5月号の答え】 総社デニム
【5月号の当選者】 藤井義男さん(総社)、中谷なほみさん(三須)



【応募総数】 24件

【応募先】 〒719-1192 中央一丁目1番1号 総社市役所市政情報課 ☒ shisei@city.soja.okayama.jp

人口・世帯数（令和2年6月1日現在）

人口 69,368人（前月比-46人）
（うち外国人登録1,740人 前月比-23人）
男 33,837人（前月比-6人）
女 35,531人（前月比-40人）
世帯数 28,445世帯（前月比+2世帯）

市民憲章

わたしたちは、美しい自然と豊かな吉備文化にはぐくまれている総社市民です。このことに誇りと責任をもち明るく豊かなまちをつくることにつとめます。

- 1 郷土を大切に
美しい環境をまもりましょう。
- 1 生涯学び
明るい家庭をきずきましょう。
- 1 たがいに助け合い
あたたかいまちをつくりましょう。

市の花・木・鳥

◎市の花/れんげ ◎市の木/もみじ ◎市の鳥/タンチョウ